

♣ 扉 NGOとして初の
現地事務所

仁茂田芳枝 1

♥ まなぶということ

西澤 清 2

♠ 今月の統計資料

地引 浩 8

◆ 詩 忘れもの



特集 この国の人権

人権意識を高めるために……………斉藤小百合 10

未完の刑事司法改革、すすむ監視社会……………海渡雄一 16

組合活動が「反社会勢力」にされる国……………小谷野 毅 21

「温情」主義ではなく普遍的な人権保障を……………酒井 徹 24

退職して思っている……………廣兼恭子 27

スポーツにおける「差別と人権」……………森川貞夫 29

中国での学生と教師—20年前と現在……………吉田陽介 31

日本のうしろ 世界のうしろ

J P 労組の23春闘—妥結結果と職場の受け止め……………竹山 徹

33

3期目の周近平体制 問われるエネルギー政策と外交……………高橋和夫

職場の法律相談 「ビジネスと人権」と労働組合……………小川隆太郎 55

国家と教育 2 大日本帝国憲法下の
国家主義的教育法制……………中川 律 58

憲法 17 韓国徴用工問題……………北川鑑一 62

- ◆ この本を読んで……………44
- ◆ キャラバンサライ……………46
- ◆ メルボルン便り……………48
- ◆ 経済を知ろう！……………50
- ◆ 中国観看……………52

52 50 48 46 44

- ◆ 働く現場から……………54
- ◆ 北から南から……………66
- ◆ センターと
みなさんをつなぐ……………68

カットII 野崎安希子

まなぶということ

女性尊重社会創設こそ
異次元の少子化対策

西澤 清

去年の出生児数は、予測を11年も早まり80万人を切りました。

一人の女性が2・1人の子どもを産むことが人口減少しない限界です（合計特殊出生率という）。政府は、2015年秋に「新アベノミクス」で少子化対策として「希望出生率」目標1・8をかけた。これは、未婚者の約9割が結婚を希望し、その夫婦が2・07人の子どもの出生を予定するとし、離婚などを勘案しものです。

岸田政権は、その失敗の反省・総括もなく、3月18日に「異次元の少子化対策」と称する政策を打ち出しました。しかしそれは従来の延長であり、「カネ」「働き方改革」など「同次元の対策」です。しかもその財源を大衆課税・保険料増に求めるなどんでもないものです。

「カネ」も必要ですが、「異次元」というならば日本社会における女性蔑視・差別をなくすことに切り込まねばなりません。まず戦前の家父長制にもとづく家族国家主義を捨てるべきなのです。真に女性が独立し人権が尊重される社会が必要なのです。子どもが大切だと世論に悪乗りして「統一教会」的な「子ども家庭庁」を立上げるなど、これらともないことです。

社会の根幹を変えるためには学校教育はその要で、そこで女性尊重を教えるべきですが、2021年4月の閣議決定（「従軍慰安婦」と「強制連行」の記述）にもとづき「新しい歴史教科書をつくる会」が文科省に対して出した「教科書に対する申入書」は女性差別と蔑視が溢れています。一部引用します。

- 1 軍用娼婦の存在は『普通のこと』、わざわざ（教科書に）書く必要はない
- 2 売春は古今東西絶えたことではない。近年では合法化して公権力の管理のもとに置いた方が合理的であるとする流れも強まっている
- 3 性の社会的・文化的意味を教科書に書くことの異常性は言語に絶する

学校教育にこうした歴史認識・女性差別の持ち込みを許してはなりません。
（日教組元副委員長）